

国際セミナー

日ASEANセミナー in ハノイ 「交通計画のためのモバイル・ビッグデータの活用」

平成31年1月16日(水) ベトナム・ハノイ Melia Hotel Thang Long Ballroom

主催: 一般財団法人運輸総合研究所

共催: ベトナム交通運輸科学技術研究所 (ITST)

後援: 国土交通省, 在ベトナム日本国大使館, ベトナム交通運輸省

■セミナー概要

ASEAN諸国では、我が国のように交通統計が網羅的に整備されているとは言いがたく、また都市の急激な成長速度

も相まって、従前の我が国のコストと時間を要する統計手法だけでは対応が難しい状況にあります。他方で、スマートフォン等のモバイル機器によって収集されるビッグデータは、迅速かつ費用を抑

えた形でデータの取得が可能であり、効果的な交通政策の提言への活用が期待されています。

「モバイル・ビッグデータ」に基づき、時間毎、季節毎等のダイナミックな人口統計や、新たな移動トリップの実態把握等により、新たな交通情報の策定、提示、そしてASEAN諸国での新たな交通統計の展開と交通政策の提言への活用について、日ASEANの関係者による考察の場を提供することとしました。

本セミナーでは、こうした状況をふまえ、様々な形で得られるビッグデータを活用して、交通統計の構築および最新のデータ活用によるモビリティの活性化に資する最先端の技術情報や取り組み、およびこれからの交通情報の展望について、発表・議論が行われました。

また、ASEAN諸国の代表も各国におけるモバイル・ビッグデータの使用状況及び今後のチャレンジについて発表し、有益な情報交換をすることができました。

プログラム

主賓・来賓挨拶

Nguyen Ngoc Dong ベトナム交通運輸省副大臣
吉田晶子 国土交通省官房審議官(国際)
宿利正史 運輸総合研究所会長
岡部大介 在ベトナム日本国大使館公使



Nguyen Ngoc Dong



吉田晶子



宿利正史



岡部大介

基調講演・研究報告

- 1 関本義秀 東京大学准教授
- 2 Dr.-Ing. Le Thu Huyen
Director of Consulting Center for Transportation Development,
ベトナム交通通信大学
- 3 室井寿明 運輸総合研究所研究員
- 4 Dr. Nguyen Quang Tuan
Vice General Director, ベトナム交通運輸科学技術研究所 (ITST)



■基調講演・研究報告

【1: 関本義秀 准教授】

「Utilization of MBD analysis for transport policy in Asia」をタイトルとし、東大で実施している集計モバイル・ビッグデータを、人口動態に可視化し、災害管理及び交通分析に利用するプロジェクト (PFLOW) を紹介しました。

更に、同じ手法でミャンマーやバングラデシュで実施したモバイル・ビッグ

データ分析結果に触れ、今年度実施したベトナムのハノイでの調査結果（Vinaphoneから入手した一週間分のデータ）の分析成果についても、動画も交えて紹介しました。

【2：Dr.-Ing. Le Thu Huyen】

「Traffic management in Vietnam Motorcycle Dependent City: Lessons learned from Hanoi」をタイトルとし、ハノイ市で深刻化する交通混雑及び増加し続けるバイク数に伴う環境問題や空間制限などが紹介されました。特に、交通・都市計画の管理の問題について、取り上げていました。

また、ハノイ市の交通分野の発展について、どの方向性に向かうか、他国の例を紹介し、公共交通やITS、交通管制センターを通じた交通問題の解決の重要性について触れていました。

【3：室井寿明 研究員】

「Applying Mobile Data for Transport

Planning」をタイトルとし、日本の交通調査及びベトナムにおける交通実態把握について説明し、現在ビッグデータの利用を交通計画に適用できる可能性について説明しました。

モバイル・ビッグデータを導入した日本の事例（人口分布やAIタクシーなど）の紹介、ベトナムにおける取組事例としては、Transerco（バス会社）のGPSデータを用いた道路混雑状況把握や速度の可視化について紹介しました。

【4：Dr. Nguyen Quang Tuan】

「Possible utilization of MBD analysis for transport sector in Viet Nam」をタイトルとし、ベトナムにおけるビッグデータの役割や特徴を紹介しました。

ベトナムでの携帯利用者数は増加の一途をたどっており、モバイル・ビッグデータの利用を、道路、インフラ管理、計画、交通管理、航空、海運分野などにおいてどのように利用するか、その大枠について説明されました。また、ベトナム

におけるモバイル・ビッグデータを利用する際の注意点やそれを支持する政策の必要性についても指摘しました。

■主な参加者

日本側：

国土交通省（官房審議官、総合政策局）、運輸総合研究所、在ベトナム日本国大使館。

ベトナム側：

ベトナム交通運輸省、ベトナム交通運輸科学技術研究所（ITST）、ベトナム国家交通安全委員会（NTSC）、ハノイ市人民委員会、ハノイ市交通局、ハノイ市計画投資局（HAPI）、ハノイ建築・都市計画局（HAUPA）、ベトナム建設省、ハノイ運輸公社（TRANSSERCO）、大学、通信会社ほか。

参加者数：85名

（とりまとめ：室井寿明）



関本義秀



室井寿明



Le Thu Huyen



Nguyen Quang Tuan

